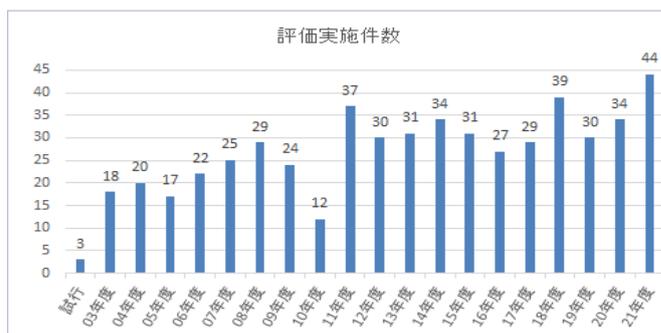


評価室活動報告

福祉サービス第三者評価はサービスを選択する際に、福祉サービスを提供する事業所の特徴を把握し、比較・検討することができるためのツールとして、介護保険制度の両輪としての役割からスタートしました。年間の受審数は全国で5,156件、うち東京都が3,608件(70%)となっています(2020年度実績)。特養、認知症高齢者グループホーム、保育所などに比べ、在宅系のサービスは受審が少ない傾向があります。

都内では117の評価機関があり、ひと・まち社は2002年の試行時に3番目の評価機関として登録をうけ、第三者評価はひと・まち社にとって経営上の基幹事業となっています。現在31名の評価者が主たる評価者として登録しており、チームで丁寧な合議を行い、利用者にわかりやすい言葉で伝えられる報告書を作成することを基本的な方針としています。コロナ禍ではありますが、感染防止を徹底するとともに、なるべく事業所や利用者の負担を軽減できるように実施方法を工夫しながら評価を行っています。

例年30件の評価を目標としていますが、昨年度はこれまでで最多の44所の評価を行いました。認可保育所は3年ごとの第三者評価の受審が運営補助金の条件となっており、昨



年度は評価依頼の多い年度でした。特養は昨年からの継続実施が8所、利用者調査など実施してきた特養が3所、通所介護は特養と同じ法人3所、新宿区内の法人から4所の依頼がありました。今年度については新規の事業所の拡大をしていくことが必要と考えています。

また、「社会的養護関係施設第三者評価機関」としての認定も受けており、資格を維持していくためには定期的に評価実績を重ねていく必要があります。なかなか新しい関係性を作ることは難しく、特定の評価機関が担っているケースが多いですが、昨年度の都児童養護施設のコンペで3年間の契約が可能となりましたので、引き続き広報活動に力を入れていきたいと思えます。ぜひ皆様も「とうきょう福祉ナビゲーション(福ナビ)」を検索して、気になる事業所の評価をみてください。

	施設			地域密着			在宅系				保育所		障害者			社会的養護		計	
	特養	養護ホーム	特定施設	認知症GH	小規模多機能	定期巡回	通所介護	訪問介護	居宅介護	訪問看護	短期入所	認可	認証	就労多機能	生活援助	放課後デイ	児童養護		母子支援
21年度	11			6	2	1	7				1	10	1	1		1	3		44
以前	89	2	1	158	39	11	49	17	11	3	3	29	45	22	3	1	6	3	492
合計	100	2	1	164	41	12	56	17	11	3	4	39	46	23	3	2	9	3	536

第21回総会を開催しました

新型コロナウイルス感染症も3年目に入りました。今年も感染対策をとりながら、オンライン参加と併用して3月22日に第21回総会を開催し、2021年度事業活動総括・決算報告、2022年度事業活動計画・予算、役員選出のすべての議案が可決されました。

昨年度は認定NPOの更新年度に当たり、都の現地確認審査を踏まえ、更新認定を受けることができました。皆様のご支援・ご協力をいただくことで、この5年間、「3,000円以上の寄付者100人以上」という基準を毎年クリアしてこられたことに改めて感謝申し上げます。

調査活動については、前年度に行った子どもを取り巻く支援者への聞き取り調査を「子どもの自立と支援に関する調査報告書」としてまとめ、アドバイスをいただいた阿部彩教授(東京都立大学)の基調講演と併せて報告会を行いました。今年度の調査についてもこれまでの調査を振りかえりながら具体的な内容を検討し、実施に向けて準備をすすめます。

第三者評価は特養11所、認可保育所10所、通所介護7所、認知症高齢者GH6所、児童養護施設3所、放課後等デイサービス1所など、合計44所の評価を行いました。今年度も30件の評価実施を目標として新たな事業所への営業活動をすすめます。評価開始から20年が過ぎ、経験ある評価者の高齢化がすすんできています。利用者にもわかりやすい評価というひと・

まち社の基本方針に沿って、これまで培ってきたひと・まち社の評価を継続していくために、マニュアルの見直しなど評価室のルールを再度確認していきます。

また、今回は理事の改選期にあたり、設立当初からご尽力いただいた理事が退任されました。新任理事として、これまでの介護保険制度に関する調査実施にアドバイスをいただいた鏡論氏

(法政大学大学院公共政策研究科兼任講師)を迎え、12名の理事、1名の監事が選任されました。引き続き皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

2021年度活動計算書(1/1~12/31)

科目		金額
会費	会費	399,000
経常収益	寄付金収入	534,152
	第三者評価事業	13,403,500
	調査・研究	45,000
	活動サポート・人材育成	0
	情報発信	29,890
	その他収益	59
経常費用	人件費	4,644,210
	委託費	3,544,000
	旅費交通費	964,501
	通信・運搬費	490,032
	事務・消耗品費	422,944
	印刷・広報費	522,250
	施設使用料・水道光熱費	1,229,853
	研修・図書費	107,500
	租税公課(消費税・印紙)	574,000
	雑費(会議費・支払手数料)	145,109
管理費	人件費	321,554
	その他	330,052
	税引前当期正味財産増減額	1,115,596
	法人税等	255,500
	税引後当期正味財産増減額	860,096
	前期繰越正味財産	5,224,424
	次期繰越正味財産	6,084,520

編集後記：ウクライナの悲しいニュースが毎日届く。こんなに全世界がロシアの戦争を非難しているのに、何の抑止力にもならないのであろうか？戦争をやめない限り、毎日小さな子どもや武器を持たない市民が殺されていく。若い兵士たちが死んでいく。こんなに破壊しつくしてもなぜ戦い続けるのか？降伏を拒否するのか？敗戦の意味することは、私たちが想像する以上に人間として・民族としての尊厳を踏みしめることなのだろうか？そのうえの勝利にどんな未来があるのだろうか？(M)